

2019年度 3月

高2レベル記述模試

日本史・採点基準

単答問題部分

◆単答問題・共通の原則◆

1. 漢字で書くべき用語（語句）のひらがな表記には得点を与えない。また、ひらがなで書くべき用語（語句）の漢字・カタカナ表記にも得点を与えない。
2. 判読しにくい文字についてはできるかぎり善意に解釈して採点する。
3. 部分点は設けない。
4. 「漢字○字で」と指示した設問に対して『』を加えて字数を一致させた答案を示した場合、『』は漢字ではないなどの理由から不正解とする。
事例) 「漢字5字で」… ○建武年間記 ×『建武記』

- 1 教育の歴史（2点×10=20点）
- 2 原始・古代の総合問題（2点×10=20点）
- 3 中世の戦乱（2点×8=16点）
- 4 近世の政治・外交（2点×10=20点）
- 5 近現代の経済（2点×8=16点）

*注意事項・許容解など
特になし。

論述問題部分

◆論述問題・共通の基準◆

1. 採点基準においては加点要素を、**2点**のものは二重線□□で、**1点**のものは下線□□で、それぞれ示している。採点に際しては常に前後の文脈に留意する(◎で示した事項、< >)内に示した事項に内容が反していないかを確認する)。例外的対応などについては※で示してある。
2. **歴史用語等**(太字で表示)についての誤字、漢字で記すべき語句のひらがな・カタカナ表記は、それが加点要素に直接関係する場合、漢字1文字分につき**1点減点**とするが、**脱字**、**当て字のある歴史用語等**の表記は、**非加点**。同一語句・文字がくりかえし誤っている場合は、それぞれを減点の対象とするのではなく、まとめて**1点減点**とする。加点要素とは直接関係しない箇所にも誤字があった場合、減点しない。
3. 制限字数を超過した答案については、模試という性質を考慮して対処する。

◆論述問題・採点基準上の記号◆

1. ◎ …前提条件 (例)「◎アメリカ」
「a **第一次世界大戦**に参戦した」
→答案例「イギリスは**第一次世界大戦**に参戦した」
◎の内容と整合性がないため**非加点**
※◎の内容は答案上に明示されていなくても良い
2. < > …前提条件 (例)「a <首相の>**浜口雄幸**」
→答案例「**浜口雄幸**蔵相」
< >の内容と整合性がないため**非加点**
※< >の内容は答案上に明示されていなくても良い
3. [] …別表現 (例)「a **益田**〔**天草四郎**〕**時貞**」→「**益田時貞**」と「**天草四郎時貞**」
4. () …省略可能箇所 (例)「a **遙任**(**国司**)」→「**遙任**」と「**遙任国司**」

3 中世の戦乱

問9

◆加点要素の合計4点→4点満点◆

◎地方に文化が普及した理由

- | | |
|---------------------|------------|
| a 応仁の乱 が発生した | …………… 1点以内 |
| b 京都 が荒廃した | …………… 1点以内 |
| c <u>文化人が地方に下った</u> | …………… 2点以内 |

5 近現代の経済

問4

◆加点要素の合計4点→4点満点◆

◎金本位制に移行できた理由

- | | |
|--------------------------|------------|
| a <u>日清戦争</u> の勝利による | …………… 1点以内 |
| b <u>下関条約</u> による | …………… 1点以内 |
| c <u>清から得た賠償金を準備金とした</u> | …………… 2点以内 |